

# よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会



それはある日突然に！

それはある日突然起き  
ました！

大事件ではありませ  
んが、昨年十月末に妻が階段  
から転落し、ろっ骨を四本  
折ってしまいました！

幸い頭は打っていないか  
ったのでホッと（笑）しま  
したが、それからの家庭生  
活は一変でした。

在宅リハビリの日々が  
始まり、今までやったこと  
のなかった炊事・洗濯・買  
い物は勿論、朝起きてから  
夜寝るまでのサポートな  
ど全て。慣れない主夫の仕  
事がスタートしました！



これは我が家だけの  
問題ではありません。高  
齢になると体力・反射神  
経・思考力などの低下が  
進み、《ある日突然介  
護！》ということも他人  
事ではありませぬ。介  
護予防の大切さを再認  
識させられました。

これは我が家だけの  
問題ではありませぬ。高  
齢になると体力・反射神  
経・思考力などの低下が  
進み、《ある日突然介  
護！》ということも他人  
事ではありませぬ。介  
護予防の大切さを再認  
識させられました。



現在は、幸い妻の体調  
も回復し、料理を一緒に  
作るなど、我が家の新し  
い生活習慣が始まって  
います♡

小諸市民生・児童委員協議会

会長 長岡 賢司

○×クイズ  
オリンピックの競技  
中、車に乗って優勝したマ  
ラソン選手がいる。  
○か×か



## わたし ここにいるよ

～第5回～

“じーん。。。うるっ” 何気ない日常に

<御幸町区>

昨年から続くコロナ禍で高齢の皆さんの外出も限られている中、感染  
対策をして短い時間でも集いの場を開催したいと、民生・児童委員二人  
でアイデアを持ち寄り開催してきました。脳トレや手作りのゲームで脳



と身体を動かし、季節にはお雛様を手作  
りし、作品は額に入れ持ち帰りました。「今  
年も飾ったわよ～！！」の声に励まされ、次の



“楽しい”に向けて私達は二人三脚で頑張っています。

そしてこのコロナ禍の中、子ども達の生活環境も変わり、子ども達  
の元気な登下校の姿が区内で見られなくなりました。閑散とした日々  
の連続に心が痛みました。しばらくして、学校も再開し人々の往来も  
少しずつ増え始めた時のこと。交差点で停車した時に見えた光景です。

《通りに増え始めた車の流れのその先、人影のある小海線が走り、

交差点では信号待ちをしている下校途中の子ども達の楽しそうな姿。》

この今までどこにもあったような光景に、私は不思議な感動で目頭が熱くなりました。普通にあっ  
た光景がコロナ禍で無くなっていたのですね。子どもにも大人にも、不安のない明るい日常が早く戻  
ることを願うばかりです。

## 健康と思いやり

我が家には2匹の猫がいる。ストーブ前で暖を取り、夫婦の会話に「にゃ」と参加。



気候が良いと散歩に出かける、ステイホーム先輩の気まぐれな猫達に、夫婦で心和まされている。友愛訪問に何うと皆さん散歩に出かけている。普段一人暮らしの方々なので、日々世間話を楽しみながら、互いの健康を確認し合っているようだ。話の仲間に入れてもらい、野菜が採れる時はお裾分けをする。皆さん喜んで下さり、会話も更に弾んだりするひと時だ。皆さんから届く「おいしかったよ。」



の言葉を妻に伝えると「よかったわ。」と笑顔。喜ばれることが励みになっている様子。地域の皆さんとの弾む会話。気まぐれ猫達に心和むひと時。これからもこのような何気ない日常を大切に健康と思いやりで過ごしていきたい。

話は飛ぶが、佐久市野沢成田山薬師寺山門前にある『びんころ地蔵』様。「元気に長生きし(びんぴん)寝込みます楽に大往生(ころり)したい。」という皆の心の願いを成就して差し上げたいと見守って下さっているお地蔵様だ。皆さんも心と身体のリフレッシュがてら



お参りに出かけてみてはいかがでしょう?何か良いところがあるかも(?)

諏訪山・氷区 民生・児童委員 中嶋 清

## 『三つの提案』をいかし支援につなぐ

児童福祉部会・主任児童委員連絡会合同研修会より

講師 小諸市教育支援センター所長 滝澤俊明先生

R3. 3. 24(水)  
於市交流センター

講師の滝澤俊明先生のお話はとても明快でした。まずは、不登校の実態や原因について。

①複数の要因や条件が重なり生ずる。

②集団・学校生活への不適合状態になるが日常生活の中でサインは必ず発信している。

③不登校について周囲は否定的に見ないことが重要。

不登校の実態と背景が少しわかってきたように思います。

次に、先生からの三つの提案。

不登校で悩む子どもたちに民生・児童委員のあり方として。

①不登校や、集団への関わりが苦手であることを否定的にまた悪いこと、といった伝え方はない。



②不登校状態の児童生徒に特別な声掛けや心配した言葉がけではなく普通に接する。それは保護者に対しても同じ。

③地域や学校で、子どもたちと関わる機会があれば、可能な限り

参加し、地域や近所の子どもたちと、知り合いになる。

先生から頂いたこの具体的な三つの視点は、私達民生・児童委員の活動に大変参考になりました。

最後に、私の思いです。

問題発見や相談が起きたら、今回の三視点を心におき、お互いの信頼関係を大事にして、相談支援にあたる。「道はるかなれども直に歩まむ」と、ひたすらに。

主任児童委員連絡会副会長 栗林 正直

## 総会報告

4月21日(木)令和3年度小諸市民生・児童委員協議会総会を小諸市文化センターで感染予防をして開催。

◎民生委員の歌「花咲く郷土」と信条は心の内で唱和。



◎長岡会長の挨拶

地域で一番身近な相談相手として明るく笑顔で接してほしいと要望。

◎小泉小諸市長祝辞

コロナワクチンの今後の予定と、日頃の民生・児童委員活動への謝意。

◎議事

昨年度の事業報告と決算報告の承認。今年度の事業計画では、『愛の手でみんなを支える住みよい地域』というスローガンのもと、今年度の活動方針と予算案を承認。

☆☆地域の皆様のご協力を宜しくお願い致します。☆☆

## クイズの答え

○ 体調を崩し通りがかった車に乗り、復調後降車し走り、トップでゴールイン。助けた車の運転者が告発し、優勝は取り消された。